

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成24年6月7日 第61号
浜田市農林業支援センター

はじめに

6月に入り、田植え作業もほぼ終了されたのではないのでしょうか。これから秋の収穫に向けて、畦畔の草刈や病害虫の防除等重労働の作業がありますが、秋の豊作を願って頑張りましょう。

(浜田市農林業支援センター長 大谷十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・中田)

先日、農業研修生を訪問し、現在の研修状況や生活について伺いました。旭町で赤梨栽培を研修している木下英樹さんは、埼玉県在住中、農業への強い関心を持ちIターンされました。果樹栽培の意向があり、現在の研修先を選択され、日々多くのことを学んでおられます。木下さんは「浜田に来て10kg痩せた」と話され、農業の大変さを痛感しながらも、充実した毎日を送っているとのことでした。

研修が修了するまでに、今後の方向性について協議する場を設け、計画策定などの支援を行うこととしています。

農業の担い手確保が重要課題となる中、当支援センターでは引き続き農業研修生を応援していきます。

研修生を訪問しました



● 認定農業者支援チーム (担当: 中田・稲田)

ACスマイルの総会が開催されました



若手の認定農業者を中心として組織している、金城農業青年クラブ(略称: ACスマイル)の定期総会が5月17日に浜田ステーションホテルを会場に開催されました。議案承認後、佐々原洋道会長の発案により、「(営農類型の)現状と今後の目標」と題して、出席された各会員毎に発表する場を設け、活発な意見交換や質問が交わされました。

支援センターとしても、今後の浜田市の農業を担っていく、光輝く若手地域のリーダーとしての活躍を期待しています。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 田原・鎌原)

島根県特定農業法人ネットワーク通常総会

6月3日、第12回島根県特定農業法人ネットワーク通常総会が津和野町で開催され、平成23年度活動実績及び平成24年度活動計画等が報告されました。

本会には現在94の法人組織が会員として加盟しており、県内各地で地域に根差した農業に取組み、活躍しています。

また同日午後には、津和野町の(農)おくがの村設立25周年記念大会が開催されました。そこでは組織の経緯、今後の展望について聞くことができ、よい刺激を受けることができました。

浜田市の集落営農組織も末長く活躍していけるよう、当支援センターでは今後も応援していきます。



2. 乾椎茸品評会が開催されました



今年で第10回目となるJAいわみ中央乾椎茸品評会が5月23日、金城ふれあい会館で行われました。

出品数は昨年より9点少ない状況でしたが、箱物の部・普通物の部において旭町の認定農業者 岩地正男さんが2年連続の最優秀賞を受賞されました。普通物の部に出品された39点につ

いては、6月2日に安来市で行われました第6回島根県乾椎茸品評会に出品され、県内117出品数のうち優秀賞（島根県知事賞）に岩地正男さんが受賞されたほか、同じく優秀賞に奥本一徳さん、三浦功さん、吉川英喜さんが表彰されました。なお、この4点は6月12日鳥取県で行われる全国品評会に出品されます。好結果を期待しています。



3. 第1回西条柿栽培講座開講

浜田市の特産である西条柿の産地強化と後継者確保を目的とし、栽培初心者の方を中心に「西条柿栽培講座」を実施しています。西部農林振興センター浜田農業普及部の梶谷専門農業普及員を講師とし、時期に応じた作業や栽培の基礎知識などを講習するものです。

5月24日に第1回を開催し、8名の参加がありました。今回は蕾の数を調整する「摘蕾^{てきらい}」の講習でした。2人1組でペアになり、意見を出し合いながら作業を進めました。

これから1年を通じた講習を開催し、1人でも多く西条柿の栽培に携わっていただけるよう働きかけを行っていきます。



4. 農業用廃プラスチックの回収について

今年も農業用廃プラスチックの回収が行われます。対象はハウス用被覆ビニールやマルチ、農薬の容器、畦波シートなどです。きちんと分別しよく洗ってから、指定の袋（20kg袋1,000円、10kg袋500円）に入れるか、ステッカー（1枚1,000円）を貼って搬入してください。回収日及び会場は以下のとおりです。なお次回は12月を予定しています。 ※問い合わせ先：JA各支所・事業、又は経済企画課（22-8823）

■ 6月28日（木）

浜田地区：旧JA下府支所

金城地区：金城ライスセンター

弥栄地区：弥栄ライスセンター

■回収時間（両日）：8時30分～10時00分

■ 6月29日（金）

江津地区：ふるさと支援センターめぐみ

三隅地区：三隅選果場

旭地区：旭ライスセンター

5. 田んぼにアート！何ができるかな？



6月3日、金城町の認定農業者 藤若将浩さんの水田で昨年に引き続き「稲作体験イベント」が開かれました。昨年は星型でしたが、今年は干支にちなんで「龍」に挑戦されました。

水田にビニールロープを張り、4品種（コシヒカリ、黒米、紫米、赤米）の苗を使用して、複雑な模様を表していました。

当日は地元の方をはじめ、地区内外から約50名の参加があり、子どもたちも泥だらけになりながら終始楽しく作業していました。秋には田んぼに龍が姿を現します。今からその様子が楽しみです。



○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。
○ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 **浜田市農林業支援センター**

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp